

CBB0型砂防堰堤 土石流捕捉事例

役目を果たし、生活を守ります！



国道156号線 小さな世界遺産の村「五箇山」へ続く大切な道。



岩、流木、土砂などの流出なし！



発注：富山県）砺波土木センター

工事名：庄川水系祖山出谷砂防総合交付金（砂防）堰堤工工事

規模等：ダム高H=10.5m、堤長L=76m

透過部 CBB0型 Hs=7.5m、B=6.0m、D95=1.0m、塗装

非越流部 土砂ダブルウォール（打込鋼矢板基礎併用）

完成：2014年11月





捕捉前



■平成20年7月南砺市を襲った豪雨により土石流発生、国道156号線に甚大な被害をもたらした。それらはダブルウォールとCBBOにて復旧され平成26年11月に完成した。
 一年も経たない平成27年8月の豪雨により発生した土石流はCBBOによって捕捉、国道156号線への被害を未然に防ぎ安全な通行を確保した。
 ■直径50cm～60cmを超える礫、5mを超える流木など、下面から4.7m高さ辺りまで捕捉。

緊急的に流下能力を確保するため
 CBBO捕捉部のみ除去



部材の損傷状況を目視で確認しましたが、交換が必要な損傷はありませんでした。本格的な除石作業、正式な部材損傷調査の日程を調整中。